

令和元年度 知の技法の伝承研究会

【日時】 10月17日(木) 14:40～

【場所】

熊本大学 黒髪北キャンパス
文・法学部本館2階 共用会議室

【題目】

「勾玉のはなし—魂結びの系譜」

【講演者】

木下 尚子先生
(大学院人文社会科学研究部)

【概要】

勾玉は縄文時代後半に登場して弥生時代、古墳時代に続いた日本固有の石のアクセサリーです。最初は何かを巻き付けたよう複雑な形をしていましたが、やがて単純化され弥生時代には美しい形になりました。奈良時代以降は天照大神の持ち物として神話の中で伝えられ、現在は皇位継承のシンボルの一つとして存続しています。勾玉はなぜこれほど長い時間にわたって日本の文化に生き続けてきたのでしょうか。このことを考古学から辿ります。

主催:社会文化科学教育部 共催:文学部・法学部

※画像出典『末盧国』(1982)

【お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学教育部
社会人大学院教育支援センター

Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:scsien02@kumamoto-u.ac.jp